

トウゴロウイワシ科の稚仔魚は2種出現した。型別に分けると、I型は黒色素胞の分布が頭頂に3群と腹腔背面と体側正中線上に点列がある。II型は同じく頭頂に3群と背側にやや大きめの黒色素胞があり、腹面に2列、体側正中線に1列の黒色素胞がある。I型とII型の出現割合は32:8でI型が多く出現した。

Atherinidae type I トウゴロウイワシ科I型(11回出現、32尾)

秋期から春期にかけて出現し、出現盛期は春期、出現海域は湾内および湾口部である。出現個体の全長範囲は4.0-12.7mmである。

Atherinidae type II トウゴロウイワシ科II型(3回出現、8尾)

秋期から冬期にかけて出現し、前種より出現期間は短い。出現海域は沖縄南部沿岸域と湾内である。出現個体の全長範囲は4.0-12.7mmである。

27. Mugilidae ボラ科(32回出現、82尾)

ボラ科は2種出現した。型別に分けるとI型は黒色素胞が多く腹面は銀白色を呈する。II型は背側黒色素胞が少なく、体側正中線上に帯状に多数の黒色素胞が配列する。腹面は前種同様銀白色、I型とII型の出現割合は56:23でI型が多く出現し、不明種が3個体であった。

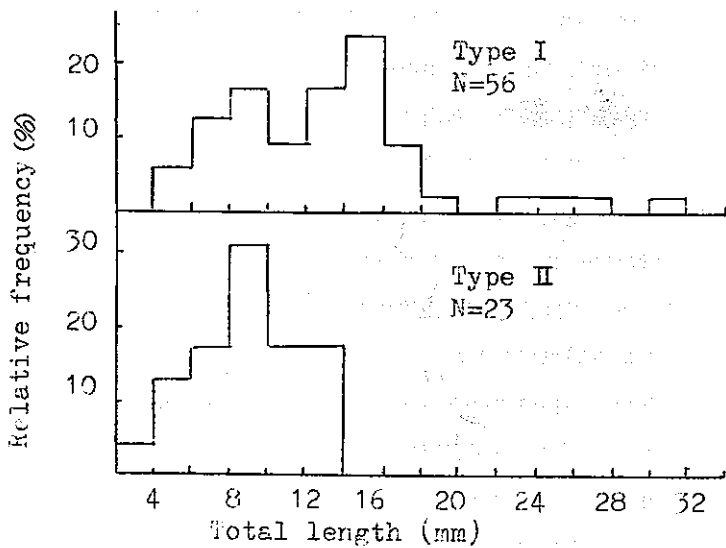


Figure - 28 Total length composition of larvae of Mugilidae, type I and type II

Mugilidae type

I ボラ科I型(25回出現、56尾)

四季を通して出現し、出現盛期は冬期。出現海域は、近海域、黒潮主流域、東支那海域で割合沖合域に出現している。出現個体の全長組成は図-33に示した通りである。全長範囲は4.3-30.4でモードは14.1-16.0mmにある。

Mugilidae type II ボラ科II型(6回出現、23尾)

12月から3月まで出現し、12月に最も多く出現した。出現海域は前種と違って湾内である。出現個体の全長組成は図-28に示した通りである。出現個体の全長範囲は3.0-13.4mmでモードは8.1-10.0mmにある。